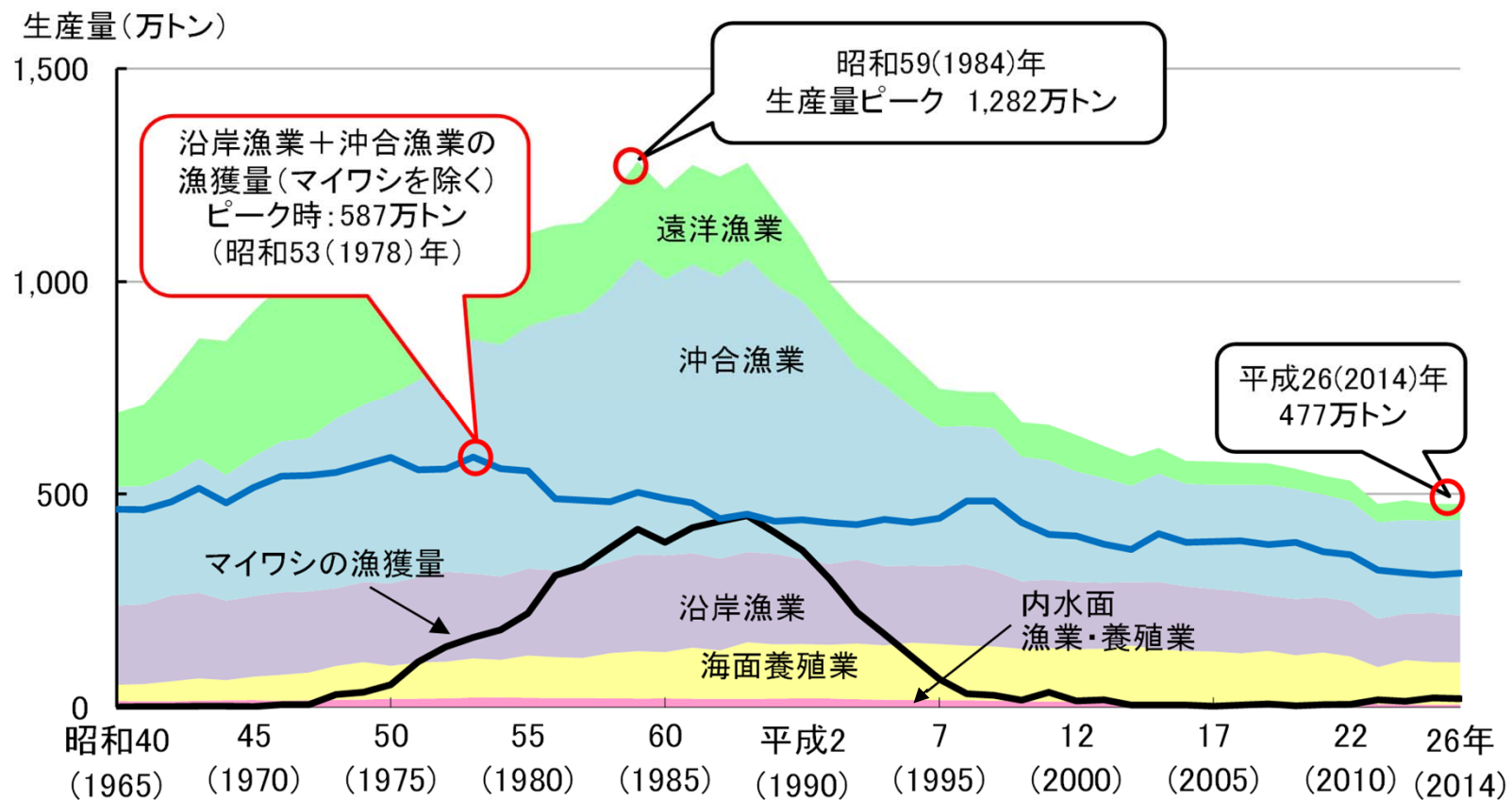


我が国水産業の現状

漁業部門別生産量の推移

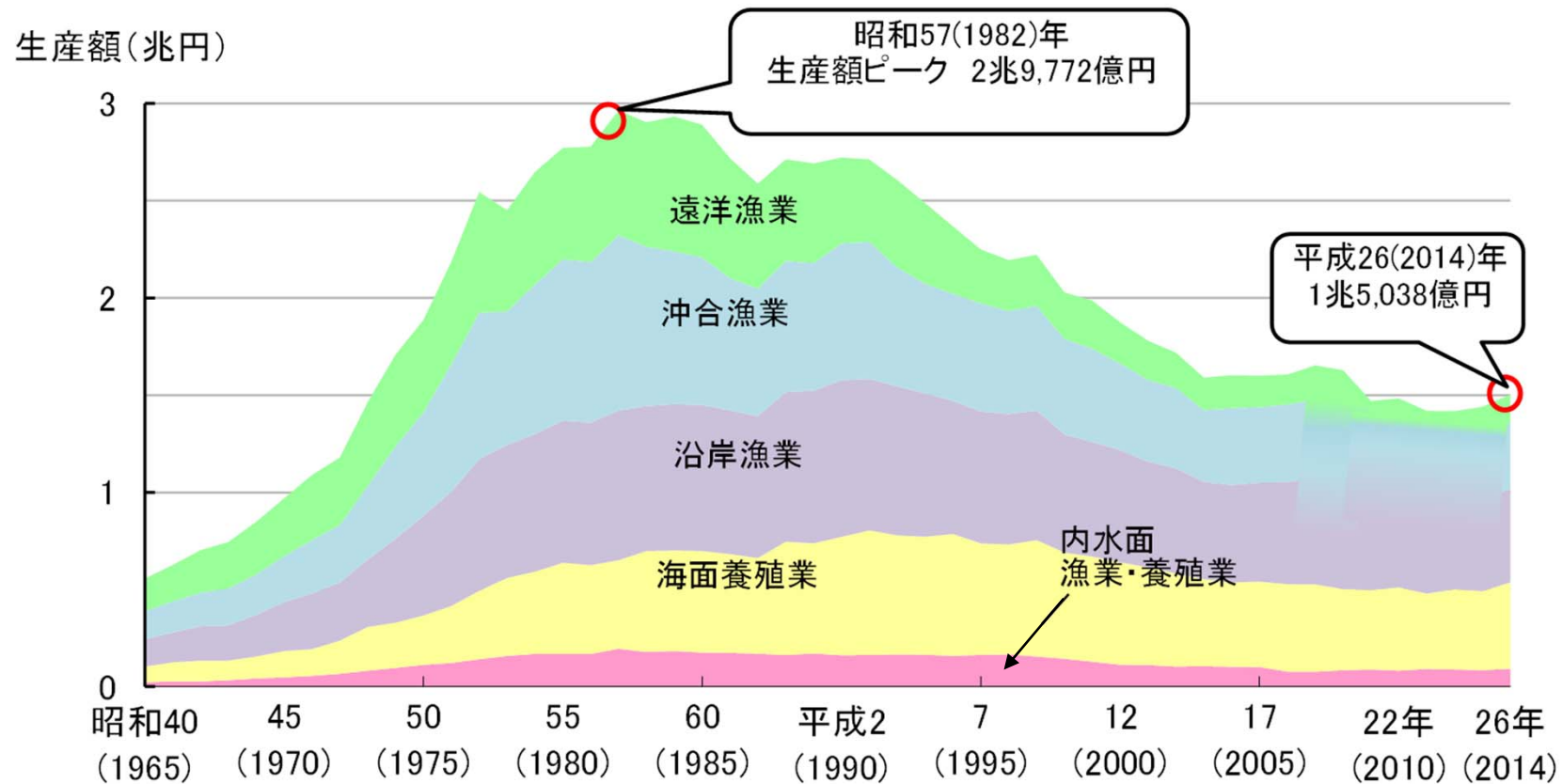
- 平成26年の我が国の漁業・養殖業生産量は477万トンで、前年と比べ5千トン（0.1%）の減少
- 漁業・養殖業生産量のピークは昭和59(1984)年の1,282万トン



資料:「漁業・養殖業生産統計」

漁業部門別生産額の推移

- 平成26年の我が国の漁業・養殖業生産額は1兆5,038億円で、前年と比べ682億円（4.7%）の増加
- 漁業・養殖業生産額のピークは昭和57(1982)年の2兆9,772億円

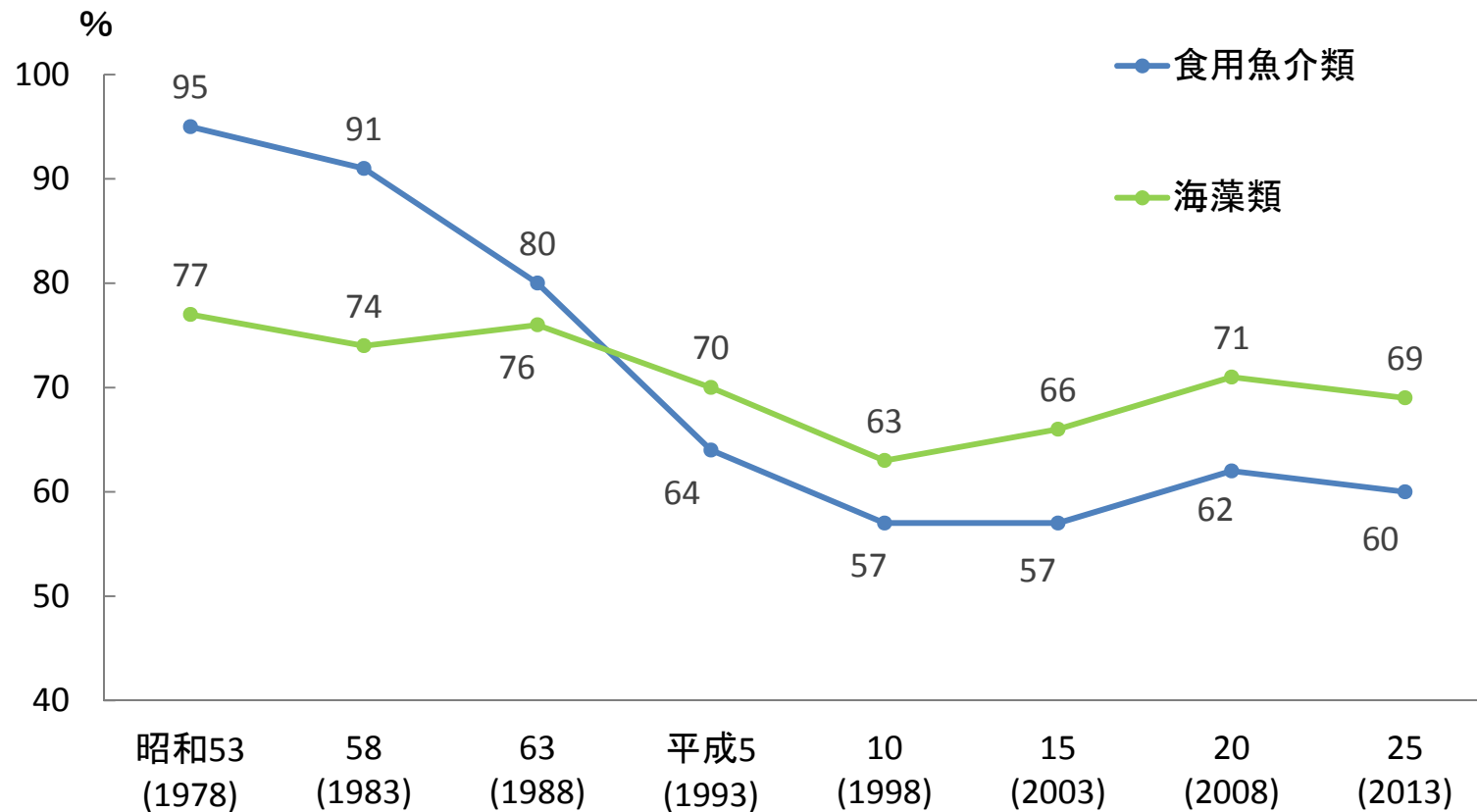


注: 平成19(2007)年から海面漁業の部門別生産額については取りまとめを廃止した。

資料:「漁業・養殖業生産統計」

食用魚介類及び海藻類の自給率の推移

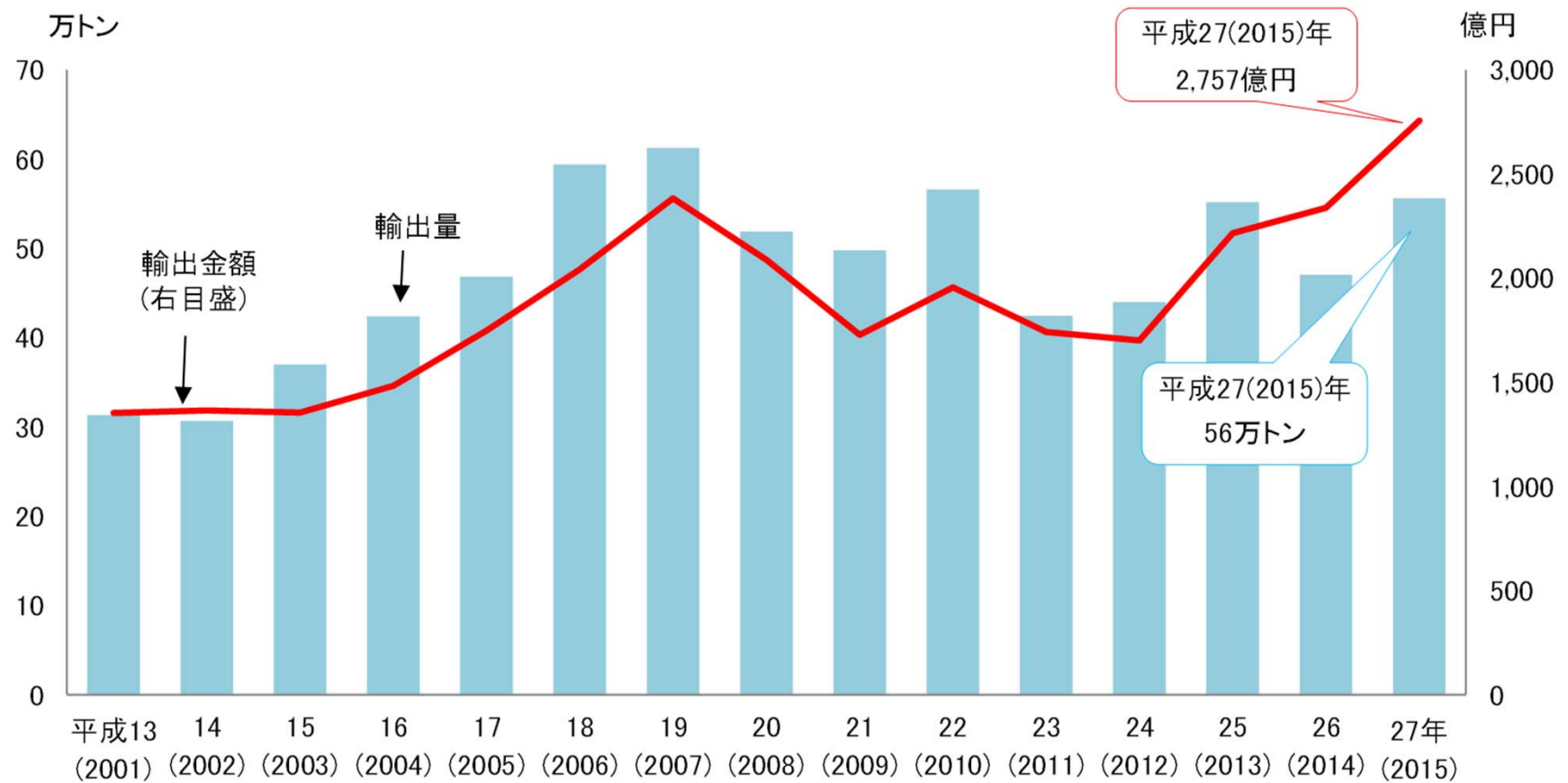
- 平成25年の我が国の食用魚介類の自給率（重量ベース）は60%、海藻類は69%で、5年前に比べそれぞれ2ポイント低下



資料:食料需給表

我が国の水産物輸出量・輸出金額

- 平成27年の我が国の水産物の輸出量は56万トンで、前年に比べ8万5千トン（18.0％）の増加、輸出額は2,757億円で、前年と比べ420億円（18.0％）の増加

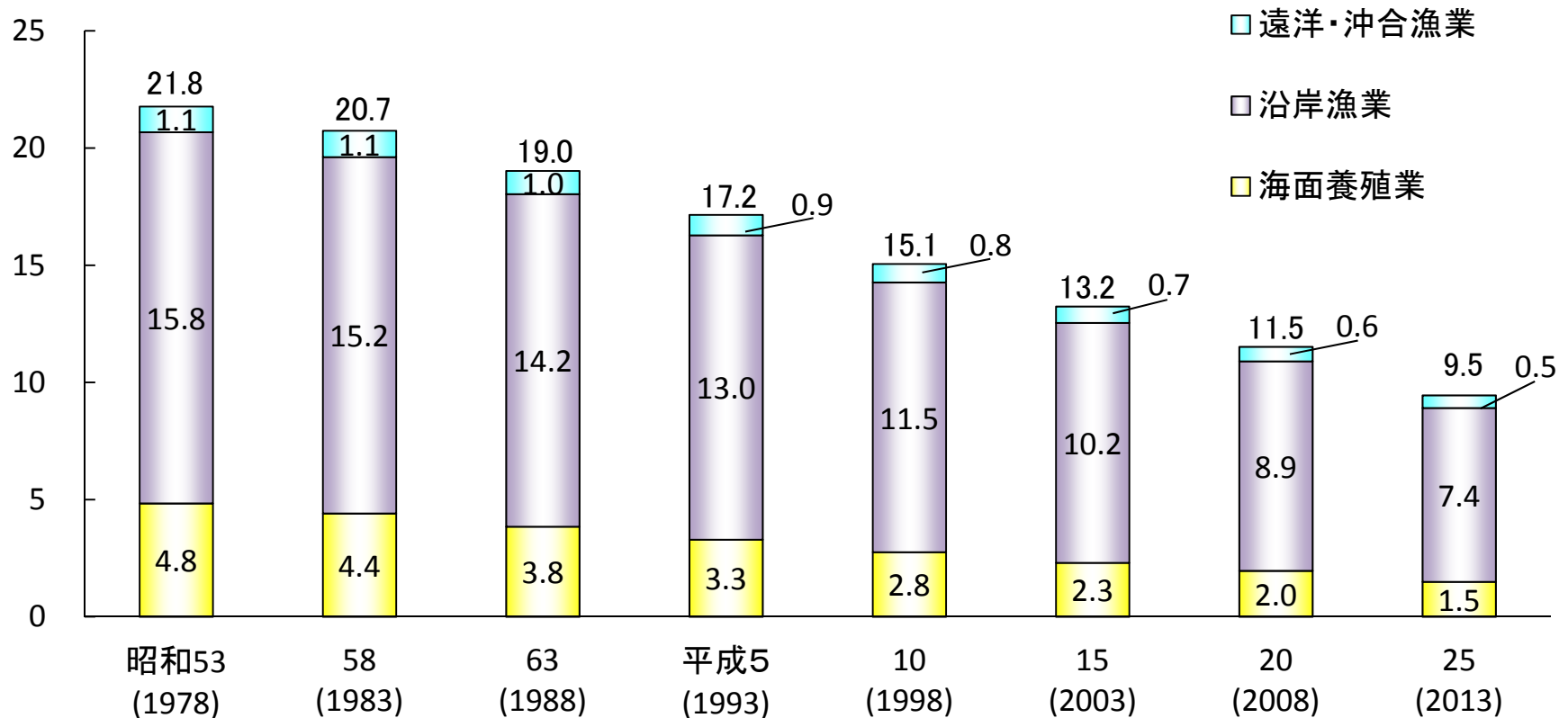


資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

海面漁業経営体数の推移

- 平成25年（2013年漁業センサス実施）の我が国の海面漁業経営体数は、9万4,507経営体で、5年前と比べ、約2万689経営体（18.0%）減少

万経営体

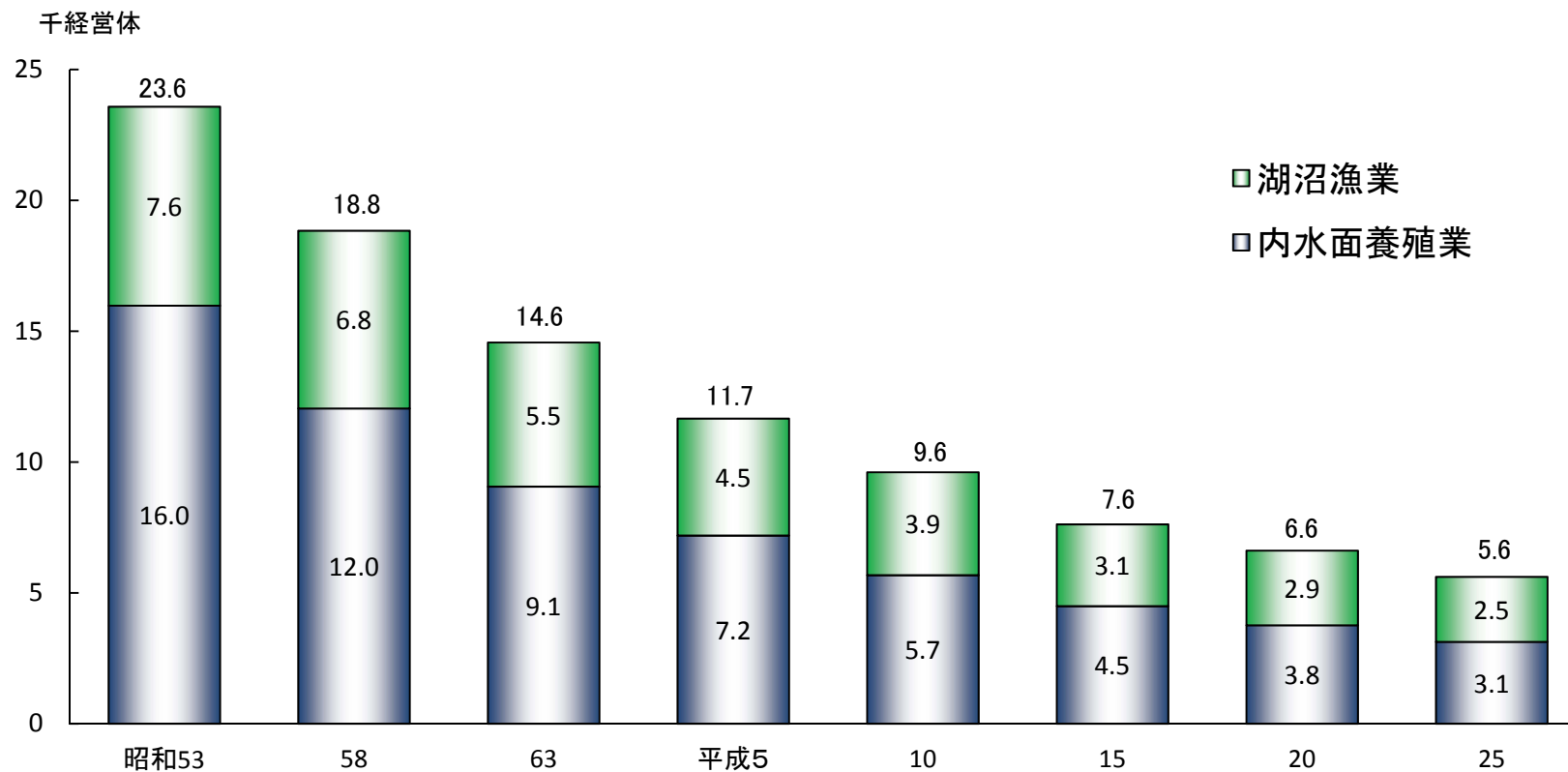


注：経営体階層で便宜上分類したものである

資料：漁業センサス

内水面漁業経営体数の推移

- 平成25年（2013年漁業センサス実施）の我が国の内水面漁業延べ経営体数は、5,613経営体で、5年前と比べ、1,001経営体(15.1%)減少

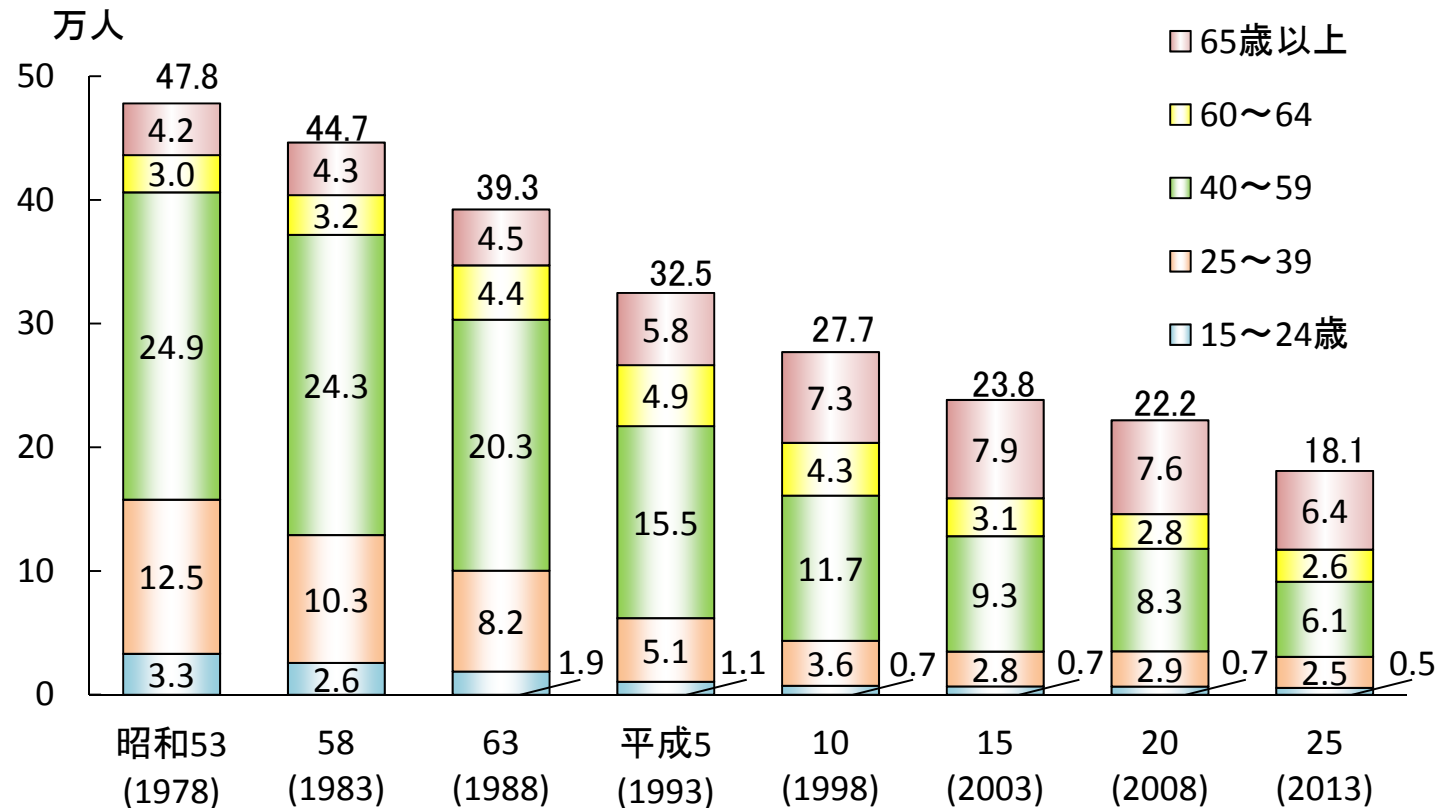


注：内水面漁業延べ経営体数は、内水面養殖業経営体と湖沼漁業経営体の合計である。

資料：漁業センサス

漁業就業者数の推移

- 平成25年（2013年漁業センサス実施）の我が国の海面漁業の漁業就業者数は、18万985人で、5年前と比べ、4万923人(18.4%)減少
- 65歳以上が6万3,633人で、全体の35.2%を占め、5年前と比べ1.0ポイント高くなった

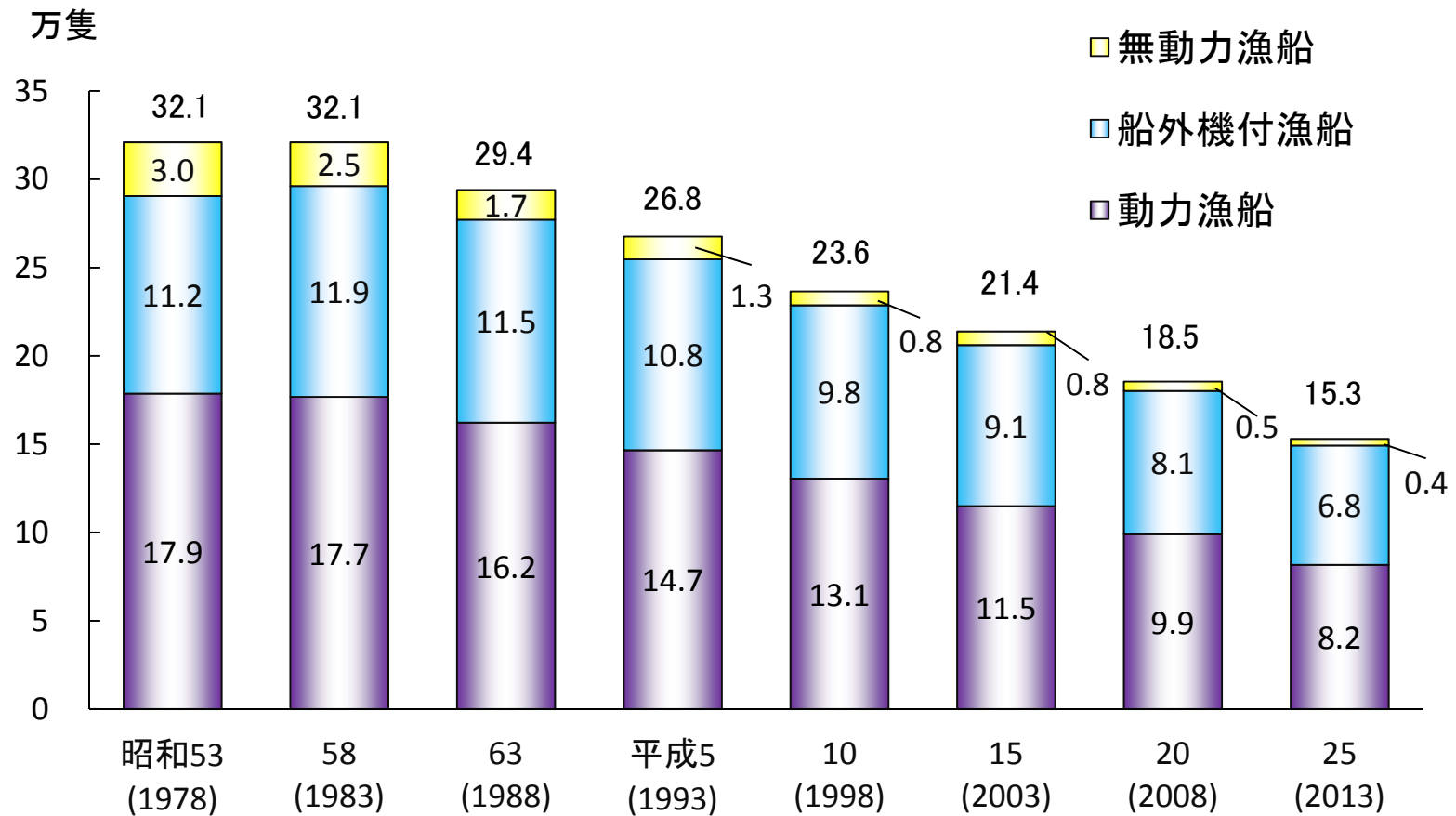


注：平成15年までは沿海市区町村に居住する人のみとしていたが、平成20年から雇われ先が沿海市区町村の漁業経営体であれば、非沿海市区町村に居住していても漁業就業者に含む。

資料：漁業センサス

漁船隻数の推移

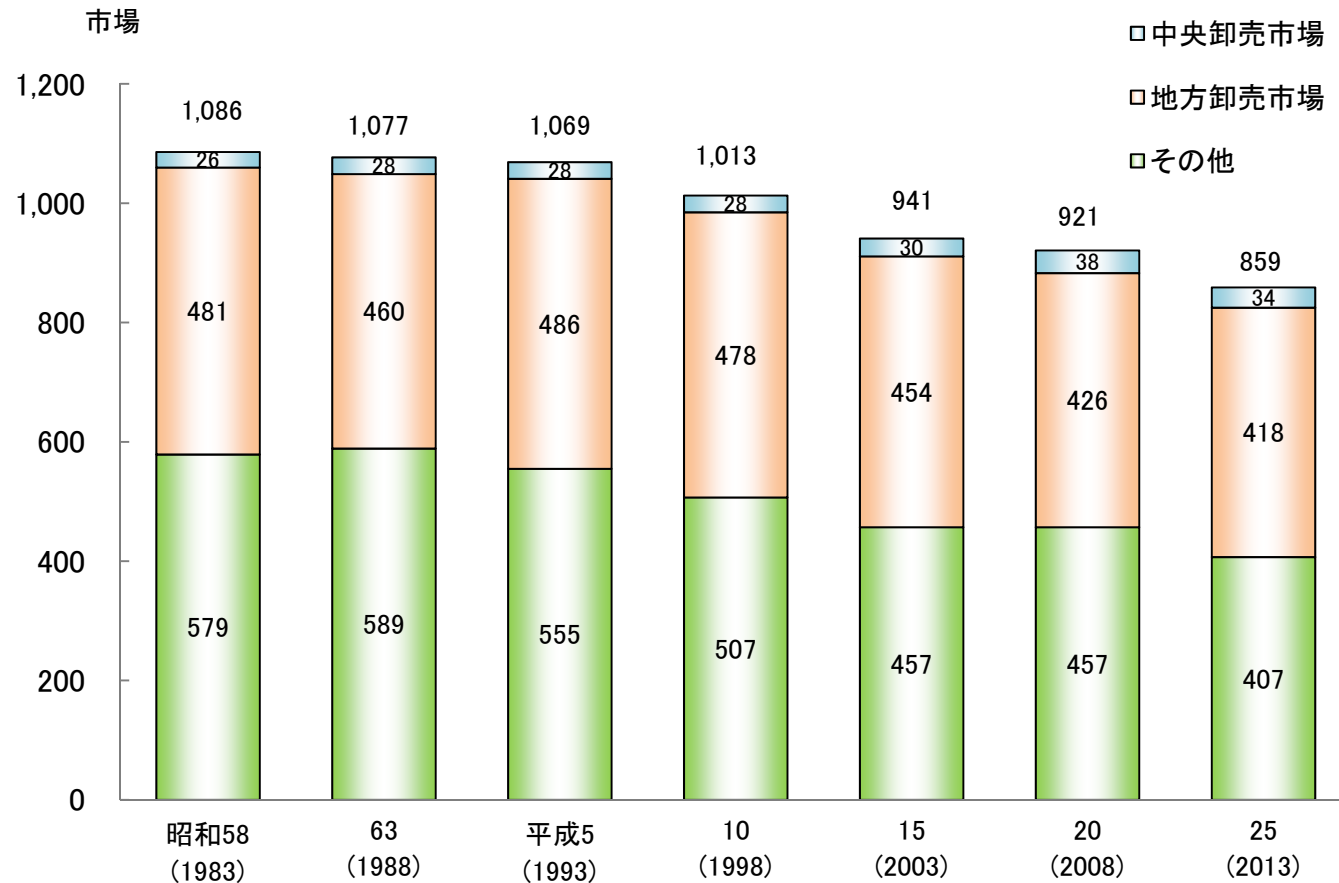
- 平成25年（2013年漁業センサス実施）の我が国の海面漁業における漁船隻数は、15万2,998隻で、5年前と比べ、3万2,467隻（17.5%）減少



資料:漁業センサス

魚市場数の推移

- 平成25年（2013年漁業センサス実施）の我が国の魚市場数は、859市場で、5年前と比べ、62市場(6.7%)減少

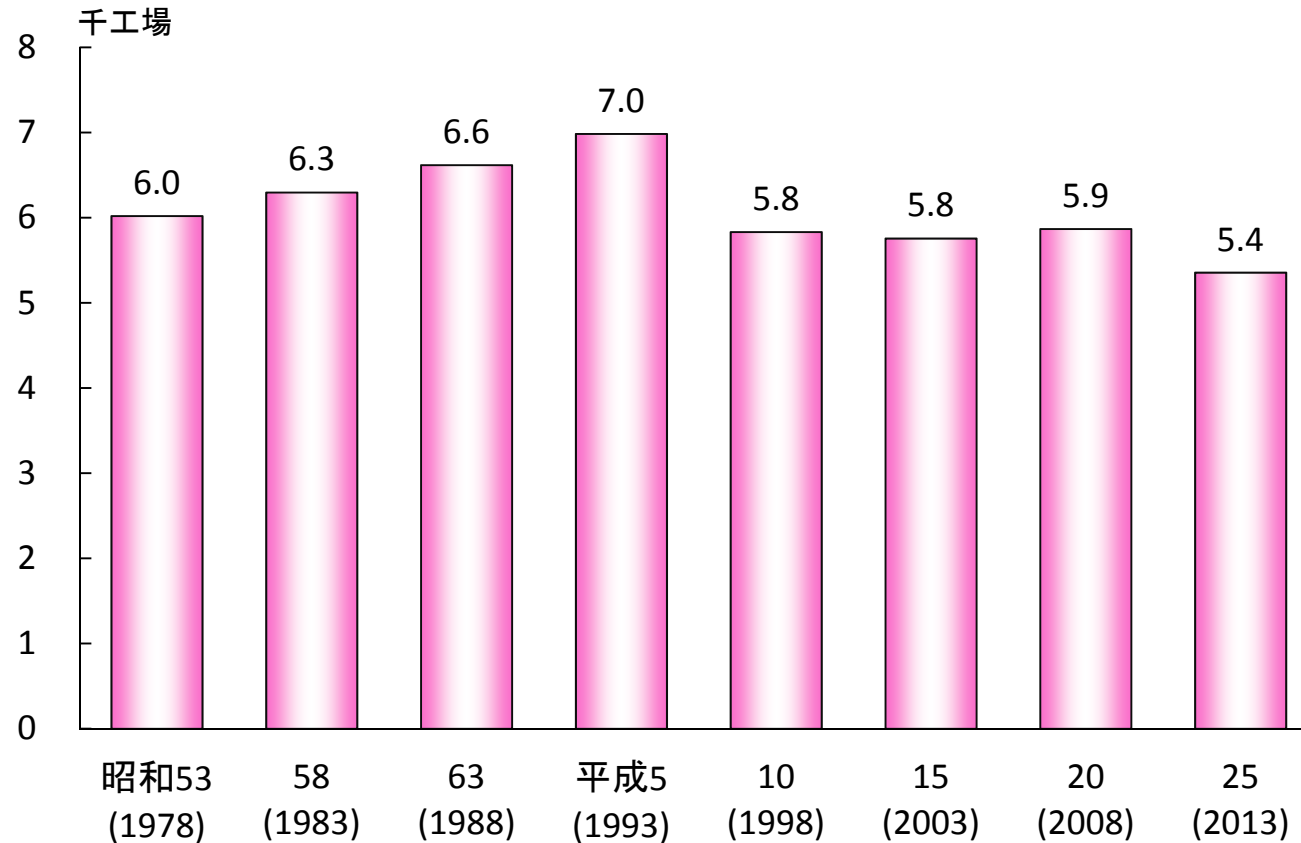


注：平成15年までは、沿海市区町村に所在する魚市場のみを対象とした。

資料：漁業センサス

冷凍・冷蔵工場数の推移

- 平成25年（2013年漁業センサス実施）の我が国の冷凍・冷蔵工場数は、5,357工場で、5年前と比べ、512工場(8.7%)減少



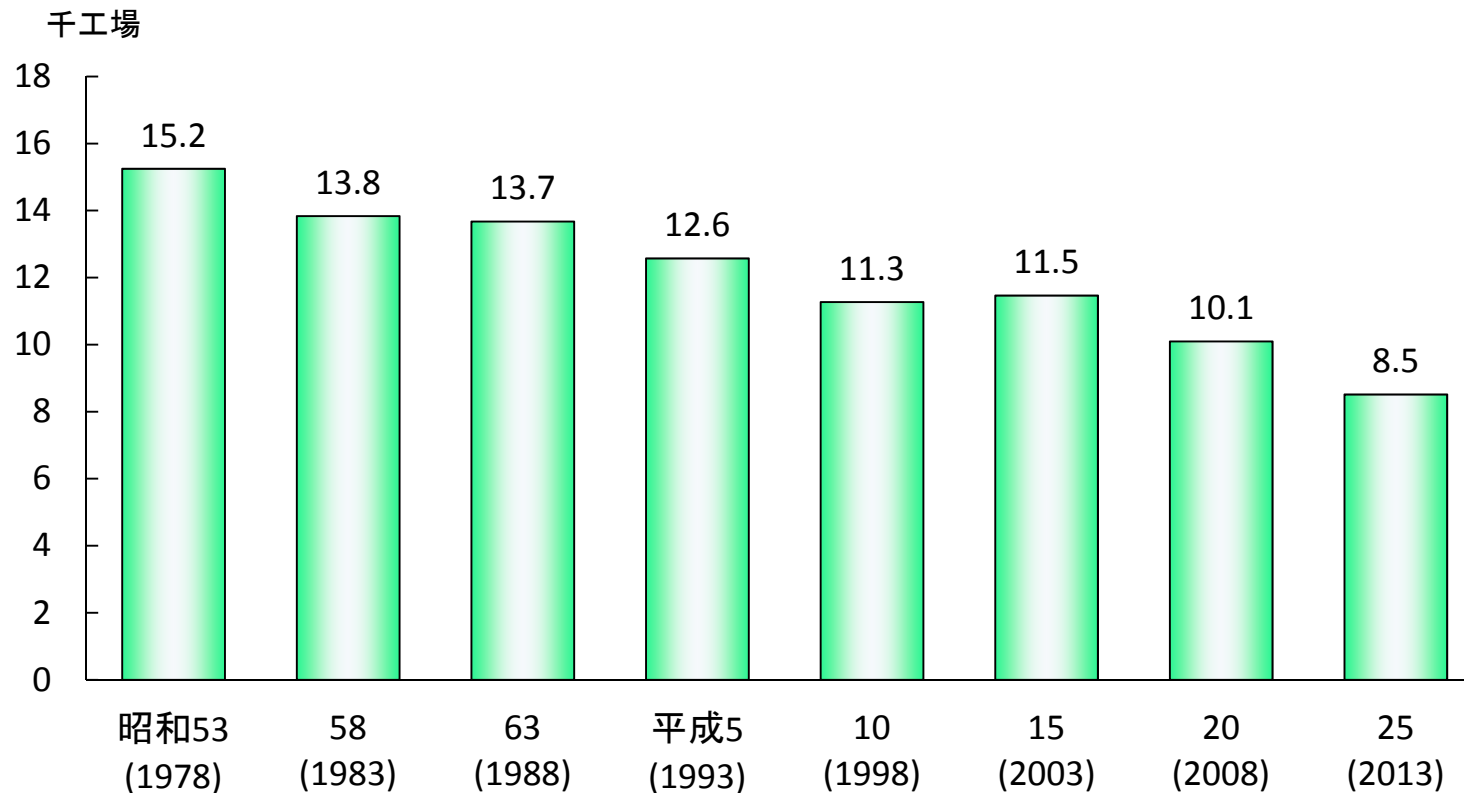
注1: 平成5年までは、主機5馬力以上の冷蔵・冷凍施設を有する工場を対象としていたが、平成10年からは10馬力以上に見直した。

2: 平成10年までは、沿海市区町村に所在する工場のみを対象とした。

資料: 漁業センサス

水産加工場数の推移

- 平成25年（2013年漁業センサス実施）の我が国の水産加工場数は、8,514工場で、5年前と比べ、1,583工場（15.7%）減少



注：平成10年までは、沿海市区町村に所在する工場のみを対象とした。

資料：漁業センサス